



あっという間の年末となりました。

大義名分があるのかないのか突然の解散総選挙、新しいかじ取りの選択。

病院も今年4月から新しい院長となりました。

新しい意気込みでこれからの病院のかじ取りをされていくことでしょう。

独立独歩のギャラリー展はこつこつと継続をモットーに息切れしないようにかじ取りをしていきたいと思っています。

今年、最終の210回ギャラリー展は「見たことのあるぞ・・・陶磁器」で14点展示いたします。日本は産地の多さ、種類の多さなど焼物大国です。

その様な種類の多い焼物群からコレクションされている有明美術会会員の方々の沢山ある作品の中からお借りしてきました。

古上野、唐津、清水、伊万里、湖東、鵬カ碯などのごく初期の作品や現代作家の

井上尚之の小代焼（ふもと窯）・・・スリップウエア楕円皿・・・3点、
高鶴元の上野焼（アメリカ在住）・・・金彩赤釉マグカップ・・・2点、
松本佐一の九谷焼（金沢）・・・釉裏金彩鳥絵壺・・・1点

バラエティに富んだ展示に心掛けました。

一度は目にしたことのある産地の陶磁器です。

お楽しみください。

210回ギャラリー展

見たことあるぞ・・・

陶磁器 展

平成26年11月24日～12月27日まで